

令和2年度 宗像市男女共同参画推進センター運営委員会 議事録

日時 令和2年 7月 7日(火)

14時 00分 ~

場所 メイトム宗像 103会議室

運営委員会委員(50音順)

出欠	名前	出欠	名前	出欠	名前	出欠	名前
○	荒武 勢津子 委員	○	今西 啓之 委員	○	木村 直喜 委員	○	佐藤まさよ 委員
○	佐矢野 洋子 委員	○	塩川 裕子 委員	○	三好 康之 委員	○	森 結花 委員

事務局:(市男女共同参画推進課:田村・吉武・飛永、男女共同参画推進センター:立石、近藤)

1 はじめのあいさつ

男女共同参画推進課長 田村泰貴

2 委嘱状交付

3 委員自己紹介

4 会長・副会長選出

◆会 長: 佐矢野 委員

◆副会長: 今西 委員

5 議事録署名人選出

議事録署名人: 荒武 委員

○委員、●事務局

6 議事

(1) 令和元年度実施事業の報告及び令和2年度事業計画について

- (市) 男女共同参画推進センターは市民活動交流館条例第16条に沿って資料1のように事業運営している。(資料1に沿って説明) センターでは、広く市民に向けた啓発活動を行っている。
- (市) 年度ごとの事業の詳細は、センターから説明する。本来であればこのセンター運営委員会が作年度末に開催予定であったので、平成30年度事業の資料をすでに配布しているが、平成30年度分については新規事業を特に説明し、令和2年度分まで説明後にまとめて質疑を受けたい。
- (センター) (平成30年度実績について) 市民の意識改革を図る啓発講座や、女性の活躍につながるよう就職支援等も行った。特に新規事業として、年3回の啓発期間に合わせ、街頭啓発活動を実施した。この期間には、情報コーナーにおいてテーマ関連図書を展示するブックフェアも開催した。主催事業として、育児と介護のダブルケアについて考える講座や、防災講座、起業講座など、幅広いジャンルの啓発講座を実施した。資格取得講座として介護事務等実施。地域との共催講座を例年に引き続き実施し、また、他課との共催として、市地域安全課と共催で防災講演会を実施した。
- (センター) (令和元年度実績について) 男女共同参画推進課では、この年から女性活躍推進事業を立ち上げ、講演会と連続セミナーを開催。センターでは、各分野ごとに啓発講座を実施した。2月に予定していた、女性ホルモンをテーマにした講演会は、新型コロナウイルス対応のため中止とした。資格取得では、3つの講座を開催。共催講座では、地域やPTAとの共催講座を継続して行っている。(事業詳細は、資料に沿って説明) 令和元年度は、38講座86回実施し、1,964人の参加があった。情報コーナーでは、図書674冊・DVD1本の貸出があった。結工房はのべ4,985人の利用があった。
- (令和2年度進捗状況について) 新型コロナウイルス対応として5月31日までメイトム宗像

が休館となったので、事業の中止や延期の対応を行った。2年度から、6月の男女週間講演会をセンター主催で開催することとし、男性学についての講演会開催予定であったが、これも10月17日に延期している。(事業詳細は、資料に沿って説明)2年度は、30講座61回の講座を予定している。共催講座については、おすすめ講座一覧を参照いただきたい。地域に出向いての講座も引き続き力を入れていきたい。

- 30年度事業について、事業概要の16ページにDVの件数が192件とあるが、相談者の男女比は。
- 男女の内訳は本日持ち合わせていないが、約8割は女性である。
- 男性のDV被害者も半数いると言われているが、男性は相談が少ない。男性に対する活動は何かしているか。
- 特に男性向けということで取り組んでいることはないが、相談があった際には男性被害者であってもしっかりと対応している。こころと生き方相談や男女課でのDV相談も、男性の相談があり、相談窓口は性別を限定していないことを広報等でも周知している。今後も男性も相談しやすいよう周知していく。
- 広報でも、女性向けの啓発が多い。
- 相談カードは男子トイレにも設置している。

(2) 令和3年度事業計画立案について

- 本来は、3月に委員会を開催し、4月以降事業計画の立案、7月に年間計画の決定をするというスケジュールで考えていた。現在、事務局で計画の立案を進めているところ。本日いただいた意見は、可能な限り令和3年度事業計画に反映するが、大きく計画を変更する必要があるものは、令和4年度以降の事業計画に反映していきたい。
- 子育て支援について、30年度の講演会のように、夫婦や子どもと一緒に参加できるものを企画してほしい。コミュニケーション不足は、DVなどの問題にもつながって行くのでは。
- 検討する。
- 30年度開催されている講座(自分も相手も大切にするコミュニケーション)が、平日に開催となっている。このような講座を、土日夜など参加しやすい時間にも開催してほしい。
- 土日夜間の講座は、一部計画の中に取り入れている。ご指摘の講座は、共催講座であり、共催相手方の日程希望もあるので、土日開催が難しいこともある。主催講座では、なるべく広く参加していただくために、土日夜間も含めて開催日時を工夫していきたい。日程設定には、アンケートも参考にしている。
- アンケートは、講座に参加できた人の意見では。講座に来られない人に意見を聞くには、別の方法も必要だと思う。
- ゆいフェスタの落語講演会は、参加してとても楽しかった。友人を誘って参加したが、堅い講演会だったら誘いづらかったと思うが、楽しそうな内容なので誘いやすかった。こういう内容も、たくさんの人に気軽に参加してもらうにはいいと思った。また企画してほしい。
- LGBTQ講座は講義形式。知識は学べるが、実際に当事者に接したときにはどう接したらいいかとまどった経験がある。座談会の講座にするなど工夫するといいかもしれない。
- コミュニティとの共催講座を、ぜひもっと積極的に進めてほしい。
- コミュニティとの共催講座は、徐々に広げているものの、まだ取り組みがない地区もある。これからは、未実施地区でも、新たに共催講座が実施できるよう、働きかけていきたい。従来、家庭教育学級説明会でお知らせをしていたが、参加していない地区もあった。まずは事業を知ってもらいたいということで、今年度初めて、資料を全地区コミュニティに配布しPRした。引き続き取り組みたい。
- 宗像市はコミュニティを中心にして地域が動いている。赤間・自由ヶ丘・日の里にはコミュニティの中に男女共同参画のグループがあり、その中の赤間コミュニティには男女共同参画部会もある。センターとコミュニティが連携して、赤間地区のように全地区コミュニティに男女共同参画部会ができることを望む。家庭の中での男女共同参画を考えたとき、男性優位の考え方がいまだに根強くある。自治会の規約でも、自治会長は世帯主と明記されているところもある。意識を変えるには、こういったところから見直す必要があると思う。
- 自治会規約については、コミュニティ協働推進課と連携して取り組んでいきたい。コミュニ

ティの部会については、コミュニティへの働きかけを引き続き行っていきたい。

- 自分は、ZOOM（インターネットを使ったビデオ通話システム）を使った幅広い年齢の人との交流を始めている。多様な人との交流は非常に気付きが多い。このようなコミュニケーション方法も、センターで発信したらいいかもしれない。

(3) 今後の男女共同参画推進センターの運営方針について

- 令和3年度から、第3期宗像市男女共同参画プランが開始する。センターにおいては、令和4年度から協働化提案制度による委託の3期目に入る。プランの主旨を踏まえた協働化提案委託となるよう、事業を検討して行きたい。そこで、来年度のセンター運営委員会では、委員の皆様に、今後のセンター運営についてご意見いただきたいと考えている。
 - 会議の時期について提案をしたい。委員意見を事業に反映していくにはどのような時期に開催すればいいか、市で検討した。5～6月頃に会議を開催し、前年度事業の報告をさせていただき、また、いただいた意見を翌年度事業の検討に反映していく形がいいのではと考えている。
- （了承）

7 事務連絡

- ・会議録について
要約筆記で作成、後日郵送
- ・報酬・費用弁償について
後日、銀行振込みで支払い

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

荒武 勢津子

